

田久瓜ヶ坂 4号墳出土ガラス玉について

平成 25 年 8 月 26 日
宗像市郷土文化交流課

遺跡概要

遺跡名：田久瓜ヶ坂遺跡

所在地：宗像市田久

調査機関：宗像市教育委員会

調査期間：平成 8 年 1 月 12 日～平成 9 年 10 月 31 日

調査面積：5,000 m²

古墳時代の墳墓 39 基を調査（前方後円墳 1 基含む）し、土器・鉄器・装身具が出土。
前方後円墳からは九州では珍しい円筒棺が出土

田久瓜ヶ坂 4号墳

墳丘：円墳

主体部：横穴式石室

出土遺物：馬具（杏葉・轡・輪鍔・辻金具）鉄刀、鉄鏃、刀子

装身具 約 700 点（水晶勾玉・水晶切小玉・ガラス管玉・銀製空玉・土玉・
ガラス丸玉・ガラス小玉）

築造時期：6 世紀中頃

田久瓜ヶ坂 4号墳出土重層ガラス玉について

田久瓜ヶ坂 4号墳からは金層ガラス玉、銀層ガラス玉、無層（箔なし）ガラス玉が出土。



田久瓜ヶ坂 4号墳出土金層ガラス玉



田久瓜ヶ坂 4号墳出土金層ガラス玉（拡大）

重層ガラス玉とは

重層ガラス玉とは、玉の内部が内外2層によって構成され、その間に金属箔（金・銀など）を挟み込んで装飾したガラス玉のこと。ただし金属箔が挟まれない場合もある。

他地域での出土例

重層ガラス玉は日本列島のほか朝鮮半島・中国・東南アジア・インド・イランなどで出土例が知られている。

日本では古墳時代後期を中心に80を超える遺跡で約200点が確認。

国内の主な重層ガラス出土地

- ・宇津久志1号墳（京都府長岡京市）（5世紀前半）
国内初見：ナトロンガラスの重層ガラス
- ・奥山田古墳群（和歌山県和歌山市）（6世紀後葉～7世紀初頭）
- ・八釣マキト1号墳（奈良県明日香村）（6世紀中頃）
- ・半田山G支群8-KF07（静岡県浜松市）（6世紀後葉～7世紀初頭）
- ・柏原C-6号墳（福岡県福岡市）（6世紀後半）
- ・蛇塚1号墳（長野県佐久市）（6世紀末葉～7世紀初頭）
- ・白石18号墳（埼玉県美里町）（6世紀後葉～7世紀初頭）
- ・久保1号墳（埼玉県美里町）（6世紀後葉～7世紀初頭）

重層ガラス玉以外の主なナトロンガラス出土地

- ・宇津久志1号墳（京都府長岡京市）（5世紀前半）
- ・風吹山古墳（大阪府岸和田市）（5世紀前葉）
- ・御茶屋通遺跡（神奈川県南足柄市）（弥生時代後期後葉～終末）
- ・西谷2号墓（島根県出雲市）（弥生時代後期後葉～終末）

分析及び結果

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター保存修復科学研究室に依頼し蛍光X線分析法により実施。

出土した3点の重層ガラスのうち、金属ガラスはソーダ石灰ガラスと呼ばれるガラスの種類の中なかでも「ナトロン」を融剤に用いたナトロンガラス（ナトロンタイプ）の特徴を示すことが判明。

まとめ

日本列島で出土した重層ガラス玉を科学分析した事例は8遺跡13点程度で、そのうちナトロンガラスの特徴をもつものは京都府長岡京市の宇津久志1号墳に次いで国内2例

目の発見、九州では初となる。

ナトロンガラスはローマ・ガラスの特徴であり、ローマ・ガラスとは一般に帝政ローマ期（紀元前1世紀から紀元後4世紀）にローマ帝国領域内で製造されたガラス製品のことをさす。

同時に出土した田久瓜ヶ坂4号墳のガラス玉の中には南アジアや東南アジアで生産されたガラス玉もあり、古墳時代のガラス生産と列島への流入を考えるうえで貴重な発見である。

ガラス玉分析についての問い合わせ先

国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター

保存修復科学研究室 研究員 田村朋美 0742-30-6847